

【葛飾区】 胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(胃部X線検査)	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	127,683	134,282	261,965
【東京都調査による対象者率(区部): 60.5%】			
実際の受診者数	882	1,557	2,439

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

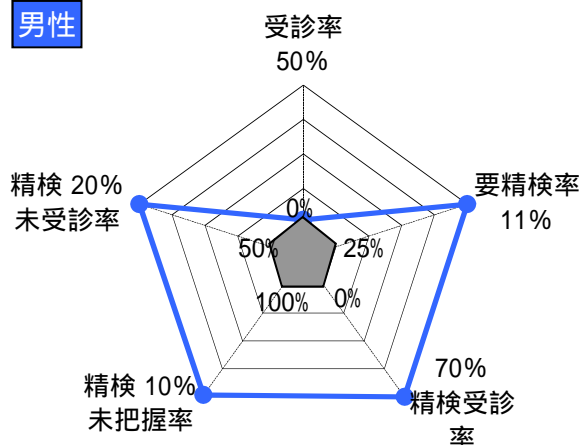
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

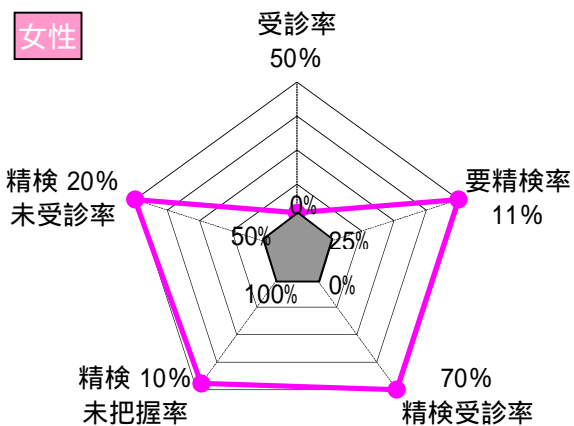
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	1.1%	1.9%	1.5%
要精検率	11%以下	5.9%	5.5%	5.7%
精検受診率	70%以上	88.5%	84.9%	86.2%
精検未把握率	10%以下	11.5%	15.1%	13.8%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	7.7%	4.7%	5.8%
がん発見率	0.11%以上	0.45%	0.26%	0.33%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【葛飾区】 肺がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

< 国の指針に基づく肺がん検診の実施状況 >

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (胸部X線検査及び喀痰細胞診)	している

< 住民の検診受診状況 >

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	127,683	134,282	261,965
【東京都調査による対象者率(区部): 66.6%】			
実際の受診者数	29,662	44,086	73,748

< 国の指針に基づくもの以外の実施状況 >

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

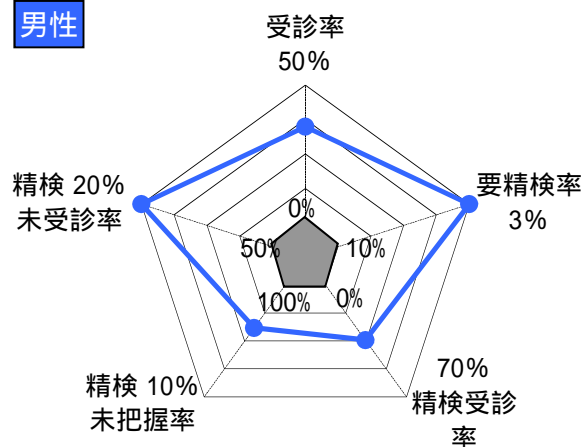
< 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 >

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	していない
精検未受診者への精検受診勧奨	一部該当

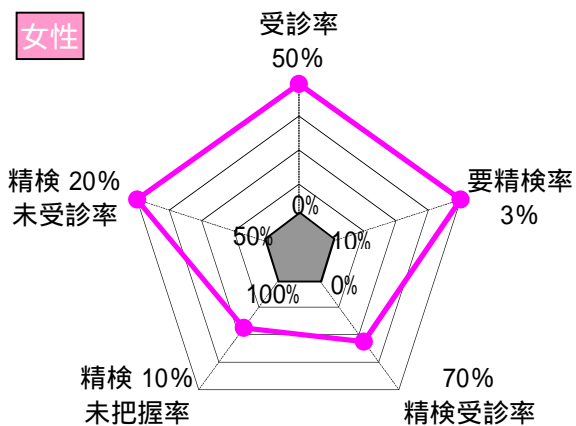
< がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) >

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	34.9%	49.3%	42.3%
要精検率	3%以下	2.4%	2.0%	2.1%
精検受診率	70%以上	34.4%	39.5%	37.2%
精検未把握率	10%以下	65.6%	60.5%	62.8%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	2.8%	1.5%	2.1%
がん発見率	0.03%以上	0.07%	0.03%	0.04%

男性



女性



【評価結果】

< 受診率 >

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

< 精検受診率 >

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

< 精検未把握率 >

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【葛飾区】大腸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(便潜血検査(二日法))	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	127,683	134,282	261,965
【東京都調査による対象者率(区部): 66.3%】			
実際の受診者数	13,608	22,517	36,125

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

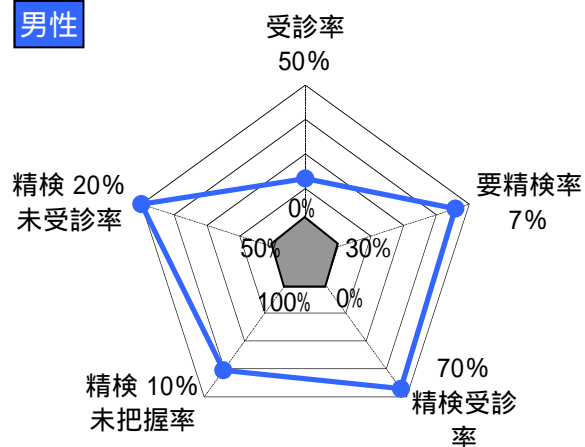
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

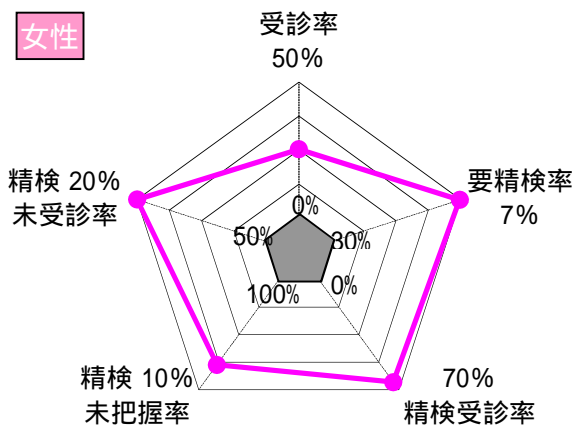
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	16.1%	25.3%	20.8%
要精検率	7%以下	9.5%	7.2%	8.0%
精検受診率	70%以上	64.9%	65.2%	65.1%
精検未把握率	10%以下	31.4%	30.3%	30.8%
精検未受診率	20%以下	3.7%	4.5%	4.1%
陽性反応適中度	1.9%以上	6.2%	3.2%	4.5%
がん発見率	0.13%以上	0.59%	0.23%	0.36%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【葛飾区】 子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

< 国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況 >

対象年齢 (20歳以上:隔年)	毎年
検査方法 (細胞診)	している

< 住民の検診受診状況 >

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		188,608	
【東京都調査による対象者率(区部): 63.7%】			
実際の受診者数		18,798	

< 国の指針に基づくもの以外の実施状況 >

対象年齢以外の実施	間隔について毎年実施
左記以外の検査の実施	していない

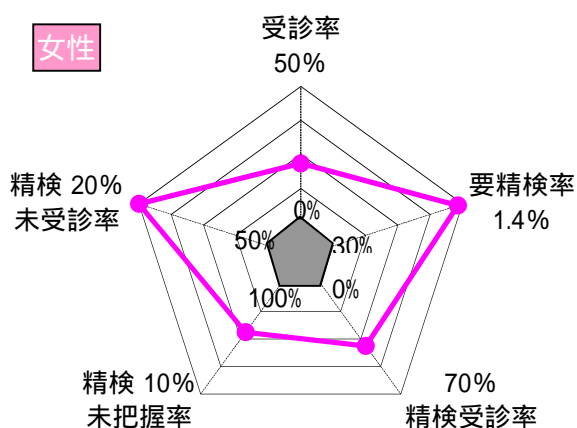
< 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 >

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

< がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) >

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		21.7%	
要精検率	1.4%以下		2.4%	
精検受診率	70%以上		39.5%	
精検未把握率	10%以下		60.5%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.8%	
がん発見率	0.05%以上		0.04%	

【評価結果】



< 受診率 >

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

< 要精検率 >

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

< 精検受診率 >

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

< 精検未把握率 >

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【葛飾区】乳がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢(40歳以上:隔年)	68歳まで
検査方法(視触診及びマンモグラフィ)	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		134,282	
【東京都調査による対象者率(区部):72.3%】			
実際の受診者数		7,466	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	30~39歳
左記以外の検査の実施	視触診のみ(上記年齢対象及び70歳以上)

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		13.1%	
要精検率	11%以下		6.0%	
精検受診率	80%以上		93.0%	
精検未把握率	10%以下		7.0%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		4.9%	
がん発見率	0.23%以上		0.29%	

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

